



平成30年9月19日

## 「課題解決型高度医療人材養成プログラム」の選定結果

本年度から開始する「課題解決型高度医療人材養成プログラム」について、7件の事業の選定を決定しました。

### 1. 事業の背景・目的

本プログラムは、医療現場等で課題となっている事柄に貢献できる人材の養成を公募テーマに設定し、これについて大学が新たに取り組を開始することで、全国の大学・大学病院における人材養成機能を一層強化し、我が国が抱える医療現場の諸課題等に対して、科学的根拠に基づいた医療を提供できる優れた医療人材を養成することを目的として、平成26年度より実施しておりますが、今般、新たに「精神関連領域」と「医療チームによる災害支援領域」の2テーマを設定し、下記のとおり公募の上で支援を行うこととしました。

### 2. 審査状況

平成30年4月18日付けで医学部・歯学部を置く各国公私立大学長宛に公募を行い、2テーマで合計35件の申請を受け付けた後、「課題解決型高度医療人材養成推進委員会」における審査を踏まえ、このたび、別添1のとおり7件の事業を選定しました。

### 3. その他

課題解決型高度医療人材養成推進委員会（委員長：大島 伸一（国立研究開発法人国立長寿医療研究センター名誉総長））から、今回の選定について別添2のとおり所見が述べられました。

<本件に関する問合せ先>

高等教育局医学教育課

大学病院支援室病院第二係 高木、上田、間瀬

電話 03-5253-4111 (2578)

03-6734-2578 (直通)

## 課題解決型高度医療人材養成プログラム 選定結果一覧

テーマ①:精神関連領域 申請件数:12件、選定件数:4件

No	区分	申請担当大学名	連携大学名	事業名
1	国	筑波大学	茨城県立医療大学、東京慈恵会医科大学	精神科多職種連携治療・ケアを担う人材養成
2	国	千葉大学		メンタル・サポート医療人とプロの連携養成
3	国	東京大学		職域・地域架橋型－価値に基づく支援者育成
4	国	京都大学		発達症への介入による国民的健康課題の解決

テーマ②:医療チームによる災害支援領域 申請件数:23件、選定件数:3件

No	区分	申請担当大学名	連携大学名	事業名
1	国	東北大学	福島県立医科大学	コンダクター型災害保健医療人材の養成
2	国	新潟大学		実践的災害医療ロジスティクス専門家の養成
3	国	熊本大学	九州大学	多職種連携の災害支援を担う高度医療人養成

平成30年9月19日

## 「課題解決型高度医療人材養成推進委員会」所見

- このたび、本委員会は「課題解決型高度医療人材養成プログラム」について、本年6月に申請のあった35件の事業のうち、事業の構想（事業の全体構想、教育プログラム・コースの優秀性）及び事業の実現可能性（事業の運営体制、事業継続・普及に関する構想）等について審査を行い、特に優れた7件（精神関連領域4件、医療チームによる災害支援領域3件）の事業を選定しました。
  
- 精神関連領域及び医療チームによる災害支援領域は、特に社会からのニーズが高く、喫緊の対応が必要とされていることを踏まえ、本委員会では、事業の確実な実施・継続、本事業により構築された人材育成プログラムが波及効果を生み新たな展開につながられるかという点を特に重視し、選定を行いました。
  
- 選定された各大学には、以下の点にも考慮した上で、事業計画が着実に実施されることを要望します。
  - （1）事業の実施に当たっては、学長・病院長等のリーダーシップの下、責任体制を明確にした上で全学的な実施体制で行うこと。また、事業期間終了後も各大学において、長期的な展望に基づく具体的な事業継続の方針・考え方について検討し、自立化した事業体制を構築すること。
  - （2）客観的なアウトプット、アウトカムを年度毎に明確にした上で、自己点検・評価や外部評価を実施し、事業の改善を行いつつ、全国の模範となる体系的な教育プログラムを展開すること。その際、本事業における多職種養成等の特性を踏まえ、履修する学生や医療従事者等が受講しやすい環境整備に配慮するとともに、修了者のキャリアパス形成につながる体制を構築すること。
  - （3）事業の実施状況や成果等を可能な限り可視化した上で、地域や社会に対して分かりやすく情報発信すること。また、他大学・大学病院の参考に資するよう、特色ある先進的な取組やモデルとなる取組について、実現するためのノウハウ、留意点等についても積極的に発信するなど、成果等の普及・展開に努めること。
  
- 今回、優れた事業や特色ある事業でありながら、残念ながら選定にいたらなかった事業が多数ありました。選定されなかった各大学においては、本委員会から、申請いただいた事業に対する所見をお伝えしますので参考にさせていただくとともに、今後も地域・社会からの高いニーズに応えるべく、本プログラムの趣旨も生かした特色ある人材育成に取り組んでいただくことを強く期待します。

課題解決型高度医療人材養成推進委員会  
委員長 大島 伸一

## 課題解決型高度医療人材養成推進委員会委員名簿

- |              |              |                                   |
|--------------|--------------|-----------------------------------|
| えとう<br>江藤    | かずひろ<br>一洋   | 公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構<br>副理事長    |
| ○ おおしま<br>大島 | しんいち<br>伸一   | 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター<br>名誉総長      |
| かわもと<br>川本   | り え こ<br>利恵子 | 公益社団法人日本看護協会常任理事                  |
| こばやし<br>小林   | けいた<br>慶太    | 公益社団法人日本歯科医師会常務理事                 |
| たけだ<br>武田    | じゅんぞう<br>純三  | 独立行政法人国立病院機構東京医療センター<br>名誉院長      |
| つじ<br>辻      | てつ お<br>哲夫   | 東京大学高齢社会総合研究機構特任教授                |
| ながた<br>永田    | たいぞう<br>泰造   | 公益社団法人日本薬剤師会常務理事                  |
| はとり<br>羽鳥    | ゆたか<br>裕     | 公益社団法人日本医師会常任理事                   |
| はんだ<br>半田    | かずと<br>一登    | チーム医療推進協議会代表<br>公益社団法人日本理学療法士協会会長 |
| やまぐち<br>山口   | いくこ<br>育子    | 認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML<br>理事長   |

計10名（○:委員長）  
五十音順(敬称略)

## 課題解決型高度医療人材養成プログラム ペーパーレフェリー名簿

### テーマ①:精神関連領域

かしわぎ かずえ  
柏木 一恵

公益社団法人日本精神保健福祉士協会会長

かやま まみ  
萱間 真美

聖路加国際大学大学院看護学研究科教授

ひぐち すずむ  
樋口 進

国立病院機構久里浜医療センター院長

よしお たかし  
吉尾 隆

東邦大学薬学部医療薬学教育センター教授

計4名

五十音順(敬称略)

### テーマ②:医療チームによる災害支援領域

いしい みえこ  
石井 美恵子

国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科教授

いしかわ ひろみ  
石川 広己

公益社団法人日本医師会常任理事

かさい しゅういち  
笠井 秀一

一般社団法人兵庫県薬剤師会会長

こいど ゆういち  
小井土 雄一

国立病院機構災害医療センター臨床研究部長

さいとう ひでゆき  
斉藤 秀之

公益社団法人日本理学療法士協会副会長

さかもと てつや  
坂本 哲也

帝京大学医学部附属病院長

ささき けいいち  
佐々木 啓一

東北大学大学院歯学研究科教授

つきのき けいいち  
槻木 恵一

神奈川歯科大学副学長

なかむら はるき  
中村 春基

一般社団法人日本作業療法士協会会長

計9名

五十音順(敬称略)